

協働通信

市民の活動

Vol.17 都留文科大学生サークル「さざなみ」

谷村第一小学校であいさつ運動を行う都留文科大学生サークル「さざなみ」の花山泰裕さんにお話を伺いました。

○サークル「さざなみ」を立ち上げた経緯について教えてください。

私は、つる子どもまつり実行委員会の事務局長も務めさせていただいていますが、以前から、子どもたちと交わす笑顔のあいさつが大好きで、都留を、人の温かさや相手との関係がわかる「あいさつ」を大切にできるまことにしたいと思っていました。また、子どもたちと日常的にふれあう機会をつくりたいとも考えていました。

そこで私たちは、小学校であいさつ運動を行おうと考え、市民活動支援センターや学校関係者の方たちと打合せを重ね、谷村第一小学校で、昨年の12月からあいさつ運動の機会を設けていただくことができました。

○活動の内容は？

約10名の大学生が月曜の朝、谷村第一小学校の正門や玄関前に並び、登校する子どもたちに「おはようございます」と声を掛けています。親しみやすい雰囲気を作れるように心がけ、名札を付け、笑顔であいさつしています。



■花山泰裕さん

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター
(旧文化会館)1階
▽開館
火～日(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuruyamanashi.jp
☎(43)1321
FAX (43)1322
※4月1日から移転しました。

○活動を始めてから変化はありましたか？

子どもたちとの距離感が徐々に縮まってくる気がします。児童から名前を呼ばれたり、元気なあいさつが増えてきました。街で出会ったときに「あ、あいさつの人だ！」と声を掛けられることもあります。

また、この活動が、子どもたちとのコミュニケーションはもちろんのこと、小学校まで徒歩で移動する中でサークルメンバーのコミュニケーションを図れる機会にもなっており、横のつながりも深まりました。

○今後の展望は？

「さざなみ」のように、あいさつで人と人の輪がひろがるのを期待しています。この活動を通して地域とのつながりを密にし、熱い気持ちをもち続けていきたいと思っています。

Vol.18

市民俳句かるた大会 実行委員会

市民俳句かるた大会実行委員会委員 小笠原勇さんにお話を伺いました。

○俳句かるた作成の経緯

俳句連盟設立30周年を記念して平成14年に俳句かるたを作成しました。

都留にゆかりのある芭蕉の句も含め有名な句を会員が53句選び、一枚一枚手作りした150セットの俳句かるたを市内の各幼稚園、保育園、小学校に寄贈しました。

○市民俳句かるた大会について

市内の子どもたちに小さい頃から俳句に親しんでもらいたいという思いで始めました。平成15年から毎年1月の第二土曜日に、文化会館で開催しています。第11回の今年は、文化会館が耐震工事中だったため2月17日の開催となりました。

参加者は毎年80～150名で、第9回までは4部門、第10回からは幼児、小学校低学年、小学校高学年の3部門で開催しています。

大会の開催案内は7月頃お知らせしており、12月にはミュージアム都留で練習会を開催し大会に備えていただくようにしています。参加費は無料で、入賞者には賞状と盾を、参加者には参加賞をお渡ししています。

○市民俳句かるた大会実行委員会について

俳句連盟会員を中心に30名ほどで組織されています。大会運営にあたっては、委員の他にも都留文科大学の学生に審判や記録係としてお手伝いいただいています。

○今後について

小さいお子さんからお年寄りまで、幅広い年代の方に俳句に親しんでいただき、大会を盛り上げて行きたいと思っています。

大会のサポートをして下さるスタッフや俳句連盟の会員も随時募集しておりますので、お気軽にご連絡いただければと思います。



■小笠原勇さん

地域のお知らせ

谷村地域

夢実現ひろば

「ターゲットバードゴルフを体験！」

日時 4月25日(木)9時～12時

集合場所 まちづくり交流センター

(旧文化会館) ※バスで移動)

会場 実の山ターゲットバードゴルフ場

会費 4000円

(保険費用が含まれます)

内容 老若男女が楽しめるターゲットバードゴルフで、日頃の運動不足を解消しましょう！